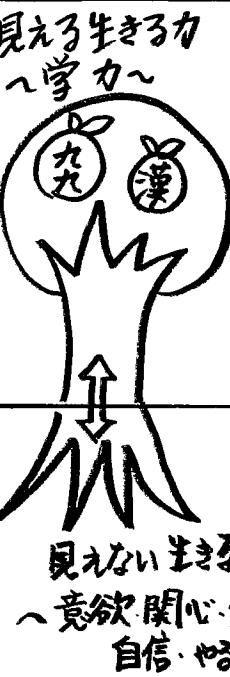


いちらしやせ通信

二学期も最終日、卒業式で、お手一杯です。

「学年最後の卒業式、ずいぶんと昔に感じます。が、熱中症が心配されるような暑さの中の卒業式でした。



右の学年力のモデル図は、これまでにもご紹介してきました。

教科の学習は、上の部分になります。丸を全部覚えられたとか、新华字典を見えたなど、自分ができるようにならざと成績の実じしくなります。次山成績の実をつけられたらその分、根も成長すると考えるモデルです。又、根が大きくなれば、もと次山の実がなるとも考えるのです。

卒業式では、まず目に見える頑張りの実を次山つくりましようと言いました。

卒業式の話をうけて、「頑張りの実」を紹介しました。

二年生の丸を全部覚えましたという実には、自分も「はい練習したけど、先生にも手伝ってもらいました。とくに五年生が、「かけ算の部屋」をつくってくれて、みんなで挑戦したのが楽しかったです。ひとつこと。

自分も頑張る、友だちも頑張る。先生も五年生も応援してくれます。このことこそ、学校で学ぶ意味を表わしているのです。

一人じゃできないけど、仲間と一緒にならできる。先生も友だちも応援してくれる。こんな体験を、これがたくさんの人に味わってほしいと思っています。

一方、今の子どもの必需品は、なんといってもゲームです。大人の生活もパソコン・携帯が必需品になつていう中で、ゲームが生活の一部になつてくると私は思っています。

昔の子どもは、野球をしたくても仲間がそろわないときもせんでも暗くなったり、雨が降ったりしてもできません。

ですから、校長室たちは、遊びをやめるのと、エネルギーを使わずにすんだのです。公園が工事で使えないといふこともありました。やめたい訳ではないのですが、できな

くことですが、しゃかうしましたね。昔の子どもたちは、「野球」「オモウ」に夢中でした。ボールとバットは必需品、放課後は公園や広場でずっと遊んでました。チーへの人数が足らないと、下級生やせの子にも入ってもらつて「無理矢理」とぐんぐる野球をしてました。

でも、ゲームはどうでしょう。一人で、いつも、どこでも、できるんです。そして、ゲームはおもしろいから、何時間でもできうえですね。(大人が、そういう風にゲームを開拓していくのですから。)

校長室たちは、野球を大

きなエネルギーを使わずに、やめることができたのですが、今の子どもは、ゲームをやめるのにもすごいエネルギーが必要なのです。そんなわかるよ。

ですから、エネルギーをやめるエネルギーの少ない人は、ゲームをやめる必要がないように、ゲームをしないのかいいかもそれませんね。

みんな仲間太せ! みんな頑張れ! みんなで走れ!